

【書く・なぞる】俳句 杉田久女 一

春寒し 手まり匂へる 座敷かな

花衣 ぬぐやまつわる 紐いろいろ

みづうみの 氷は解けて なほ寒し

月光に 魚跳ねかはす 石の上

紅梅や 障子の穴の 遠い山